

プリパラおじさん日記

増補版冊子見本

※本文は、紙版はモノクロ、PDF版はカラーです。

押井徳馬

はなごよみ

2月7日	やってもた!	54
2月8日	QRコード作成、再挑戦	55
2月13日	当日券と値段が変わらないのですが	55
2月14日	極秘ミッション!	56
2月28日	フォントにまで手を出した	56
3月3日	少女漫画雑誌のファンに復帰	57
3月7日	ファルルが死んじやった!	58
3月8日	映画プリパラ ルート1	58
3月12日	プリティーリズム シェイク	60
3月13日	映画プリパラ ルート4	60
3月14日	ここもプレーしやすい場所!	61
3月15日	映画プリパラ ルート2	62
3月20日	「1450」も入っていない!?	63
3月21日	映画プリパラ ルート3	64
3月22日	映画プリパラ アイドルおうえん上映会	64
3月23日	オトカドール	66
3月30日	ちっちゃい子キャラについて思う事	66
4月1日	ファルルさよならライブ	67
4月2日	ドリチケは本当にデカイ	67
4月4日	プリティーリズム海外版	69
4月12日	アイカツ!レッスン大会初参加	71
4月18日	プリズム☆ジャンプに申込み	72
4月20日	虫めづる姫君	72

4月26日	大画面でプリパラ!	74
5月1日	さらに灯台下暗し	76
5月3日	初めてなのに高得点!	76
5月4日	文学フリマ	77
年下なのに「先輩」?		78



おはよう、フェルプス君。今回の指令を伝える。

「プリパラ」をプレーして「プリチケ」を取得せよ！

例によって君もしくは君のメンバーが「この人へンタイですつ！」と捕らえられ、あるいは社会的に抹殺されても当局は一切関知しないからそのつもりで。

なお、このゼロハンテープは自動的に消滅する。……ってゼロハンテープって何やねん。成功を祈る！

12月1日 プリチケ風の名刺

コミックマーケット(コミケ)等の同人誌即売会では、自分のペンネームを記した名刺、通称「同人名刺」を配る人もいる。私も今回リニューアルしようと考えた。

名刺はPCのプリンタでも印刷出来る。A4版の用紙にマイクロミシン目が入っていて、折り曲げると簡単に切り離せるのだ。そこでふと、アニメのあるシーンを思い出した。土曜日の午前にやっているアニメ「プリパラ」で、登場人物達が「プリチケ」と呼ばれるチケットをマイクロミシン目の部分で折り曲げて上下を切り離し、上の「トモチケ」と呼ばれる部分を友情の証として交換するシーンを。

名刺用紙のマイクロミシン目の切り離し方と全く同じだったので、その用紙を流用して、自分でも似たデザインの同人名刺を作れるのでは。アニメファンの間でも流行っている作品でもあるし、是非作ってみよう。

ところが、大きな問題が一つあった。元となる本物のプリチケの寸法を私は知らなかった。アニメ版では、プリチケは「年頃の女の子(後述するが、レオナみたいな例外もあり)にこっそり届く」ものらしいが、それは飽くまでもアニメの設定。現実世界では、金の力(百円)で入手出来るらしい。ただし、入手するには、ゲームセンターでプリパラを一度だけでもプレイするしかない。さあどうする？

こんな
同人名刺を
作って
みたい!



12月2日 プリバラはアイドルの現場だった

プリバラの公式ウェブサイトを初めて見て、プリバラのゲーム機がどの店舗に置かれているか確認。最寄りの店舗は、有名な大型ショッピングモールだった。

早速その夜にその店に寄ってみると、ゲームコーナーには、リボンと寶石でデコられた可愛いマークに「プリバラ」と書かれた筐体かようたいが一台、同じく「プリバラ ライト」と書かれたものが二台あった。八時頃となると子供連れの客も数える程で、閑散としていた。

いわゆる「幼女先輩（アイカツ！やプリバラの大人のプレイヤー）は、ちっちゃい女の子のプレイヤーの事を、敬意を込めてこう呼ぶ。上下関係は子供が上！」はおらず、三台とも空いている。すぐ近くには人もいない。この二点を確認すると、何か悪い事でもしてるかのようにどきどきしながら、一番右の筐体かようたいの前に腰掛けた。そして「お金を入れてね」という声に促されるまま、恐る恐る百円硬貨を入れた。もう後には退けない。

縦長のスクリーンに「マイチケをスキャンしてね」と表示されたが、私は何のチケットも持ってない。赤いボタンを押すと、写真撮影の画面になった。幸い、写真撮影をスキップできる事はプリバラのサイトで見て事前に知っていたので、もちろん飛ばした。

すると「マイチケをスキャンしてね」と促された。画面には、

アニメの主人公、らあちやんが白いTシャツにピンクの短パンにスニーカー（レッズス着）という出で立ちで映し出されていて、どうやら衣裳の印刷されたマイチケを読み込むと、その服を着せる事が出来るらしい。残念ながら赤ボタンでスキップ。「トモチケをスキャンしてね」も、やはり赤ボタンでスキップ。

画面の女の子達がプリバラのステージへ飛んでいくアニメーションやら関連商品の宣伝やらの動画が映し出された。気が付くと、少し離れてはいるが、小さな男の子とその父親らしき人が、仮面ライダーのゲームの筐体かようたいで遊んでいるようだった。だが、ここまで来た以上、もう後には退けない。ゲームが終わるまで、観念して居坐いすまるしかない。

ゲーム開始。アニメで毎週見ているらあらをセンターに、みれい・そふいの三人が本場にステージに現れた。三人ともレッズス着で、上には「らあら」「みれい」「そふい」と白地でキャプションが付いており、三人の動きに合わせてキャプションも動く。これまでテレビでしか見ていなかった、あの「そらみスマイル」の三人が、今自分の目の前で本場に動いている！という感動が湧き上がってきた。

幸い私も、太鼓の達人とか初音ミク Project DIVAとかポツンミュージックといったリズムゲームのやり方には慣れている。このゲームではピンク色の丸いマークが輪の中を通るタイミングでボタンを押せばいいという事らしかったが、赤ボタ



【めが姉え】

今日ののんちゃん
はチャイルドスモック
コーデね！
チューリップの名札も
キュート！
ともだちたくさん
できるかしら？



【めが姉え】

今日の二人は「かすりはんてんどレス」ね！
らあちゃんは大きな「北の海女」リボン、
みれいちゃんは駅員さん帽子が似合っているわ！

12月27日 個人誌、完成

「プリパラおじさん日記」の原稿と、附録のPDF版ダウンロードカードのデザインがやっと完成した。レーザープリンタで印刷して表紙を断裁し、製本用ステープラーで綴じれば完成。附録の方は、厚手の名刺印刷用紙にやはりレーザープリンタで印刷。次の日のコミケはこの他にも初売りの本が二種類あって、アイドルをテーマにした萌えぎのエレンさんの「さよならスマイレージ」、Windowsプログラミングを扱った隅須ゆとりーさんの「餅でもわかるC++」も印刷したり製本したりと忙しい。

12月28日 コミケではトモチケが名刺代わり

コミックマーケット当日。萌えぎのエレンさんや隅須ゆとりーさんとサークルスペースを設営したり、本を頒布したり、交代で他のサークルスペースへ行つて本を買つてきたり。

さすがに大手の人気サークルとは異なり、うちは行列が出来る程ではなかったが、それでも来場者が今回の新刊をはじめ、いろいろな本を手にとってくれたり、気に入った本を買ってくれたり。

今回の目玉企画は、本来三百円の「プリパラおじさん日記」を、トモチケ交換してくれた人には無料で頒布するというもの。今回のサークルスペースはアニメ系ではなく文章系のサークルの多い場所に配置されていたので、プリパラの好きな人が来る

事はあまり期待出来なかつたけど、それでも最終的には十四部売れて、トモチケ交換も五人と出来たのが嬉しかった。

自身がサークルスペースを離れる時、トモチケ交換に来る人が来るかも知れない。でも私はプリパラに関係した本を出す他のサークルスペースも回つて本を買つたりトモチケ交換したりしたい。そこで、プリチケを五枚ほどサークルスペースに残して出掛ける事にした。ネットで会つた人や初めて会つた人、何人かとトモチケ交換したり本を手に入れたり出来たのが嬉しかった。

トモチケ交換は、相手の持っているいろんな衣裳のトモチケの中から一枚を選ぶのが楽しみの一つ。人によつて好きな服の傾向が違うので、それを観察するのも面白いものである。意外だったのが、何となく引き当てたり本の附録で手に入れた「ワンダーランド」シリーズのプリチケで作った、縞々のワンピースを着たトモチケが一番人気だった事。そんなに珍しい服ではないのに、これほどまでに人気があつてうらやましがられるとは、全く想像していなかった。珍しさや高得点の狙えるトモチケより何より、「かわいいは、正義！」だ。そんなに有り難がられるコーデなら、これから沢山作つておこう。

当初は「プリチケ風の名刺を作つてみよう」から始まったのに、気付くと「トモチケを名刺代わりにしてもいいよね？」になつていた。なお、私の不在時にトモチケを持ってきてくれた人が一人いた、と後で萌えぎのエレンさんに聞いた。

最終的に、「プリパラおしきん日記」は十四冊出た。ただし、そのうち五冊はトモチケ交換による無料分。アニメ関係の区画ではなく、前宣伝も不十分な突貫工事にしては、まあそれなりに売れた方だろう。

その夜、秋葉原に出て三人で打ち上げ。その際、プリパラとはどんなゲームなのか、実際にゲームセンターに行つて、アーケード版をまだ見た事のない二人に実演してみせた。コミケで受け取ったトモチケキャラが元の持ち主の手を離れ、同じ画面で私のキャラクターと一緒に踊る様子を興味深そうに見ていた。いや、単なる「興味深そうに」という言葉では足りない程、プリパラのこの革命的なゲームシステムは、それはそれは衝撃的だったらしい。店を出てからも、「次はプリパラのゲームについて論じた本を出すべきだ!」と、この話題で盛り上がっていた。その夜セブイレブンに行くと、アイカツ! スタンプラリーの台紙とスタンプが。四つスタンプを集めるとカードがもらえるという。「おとなの人といっしょに参加してね!」とあるが、自分自身が大人の場合でも大丈夫だろうか。ネットでは大人でもらつてる人の情報がたくさんあつたので多分大丈夫だろうけど。

12月29日 灯台下暗し、再び

今日も東京。秋葉原でプリパラをやってみたり、羊さんっぽいコスチュームのプリチケを目当てに初めて「ちゃお」を買つて

みたり。そして地元に戻ると、セブイレブンで無事スタンプラリー参加賞の「ポヌールキートップス」のアイカツ!カードを獲得。しかしトップスだけでポトムスとシューズが無い。果たして同じシリーズのものを手に入れられるやら、それとも別シリーズでもいいから、トップスに合つたポトムスやシューズを見付けてみるか……?

ところがそのセブイレブンに並んでいたちゃおには、セブイレブン限定のアイカツ!カードが追加の附録になつていた。これは残念。でも、「私がセブイレブンでゲットしなかつた分、幼女先輩が買ってくれるかも」と思う事にしよう。

12月30日 プリズムストーンショップへようこそ

コミケ三日目。今日はサークルとしてではなく一般参加者としてあちこちのサークルを見て回る事に。

混んでいるとは言え、昼過ぎに入つたので割合スムーズに入れた。お目当ての本をあらかじめ買ひ終わり、同人音楽CDを売るサークルのある方面にふと足を運んでみると、何だか見覚えのある衣裳を来た三人の女の絵のポスターがある。

紛れもなく、プリパラの「ワンダーランド」シリーズのワンピだ。下には「さなとんたん♪キャラクタースングこれくしょん」とある。サークル「第二生徒会室」による、プリパラをイメージした歌という事だった。「さなとんたん♪」とは、この歌を歌っているグループの名前らしい。まさかこんなところで



プリパラ関係のサークルに出会えるとは夢にも思わなかったし、即ジャケ買い。今日は残念ながらプリパラ関係の同人誌となるとあまり手に入らなかった（売り切れも多かった）が、このサークルスペースを含め、あちこちのサークルでトモチケ交換出来たのは嬉しかった。

次は原宿へ。人混みでなかなか進めない竹下通り。クレープを食べたいけど、どの店も行列ばかり。そんな道を奥まで進んでいくと、ホットピンク色の看板が見えてきた。ファンには「プリパラの聖地」とも呼ばれる「プリズムストーンショップ」である。

来た事はないまでも、店の存在自体は、「プリティリズム」放映時から知っていた。当時はプリティリズム、今はプリパラとコラボした子供服の店と聞いていたので、私の様ないい年した成人男性には、ちよつと行きづらい店に感じたのだが、勇気を出していざ突撃！

ところが、中に入って拍子抜けした。ここは子供服の店というよりも、プリパラグッズ全般の店と呼んだ方がむしろふさわしい。三分の一がプリパラやプリティリズム（プリズムストーンショップ限定で残っている！）のアーケード機、三分の一がプリパラ関連グッズ、三分の一がプリパラとコラボした子供服といった具合。そして娘を連れのお父さんお母さんだけでなく、娘のいない大人の男女も普通に入って、プリパラグッズを見たりプリパラをブレーしたりしている。